

I - 6. 近畿地方の在来野菜の収集 —アブラナ科ほか—, 1986年

野菜・茶業試験場 野菜育種部 育種第4研究室

吉川宏昭
山岸博
由比進

1. 目的

近年、F₁品種の台頭によって地方の在来品種の消滅が危惧されるようになり、その収集・保存が急務とされている。本研究は、農水省の「昭和61年度国内植物遺伝資源収集」事業のなかで、近畿地方のアブラナ科野菜在来品種の調査・収集を行う。

2. 調査・収集方法

- 1) 収集者 野菜育種部 育種第4研究室 吉川宏昭・山岸博・由比進
- 2) 現地調査期間 1986年10月21～25日の5日間
- 3) 協力機関 滋賀県農業試験場, 京都府農業総合研究所, 京都市乙訓農業改良普及所
その他, 公立研究機関・民間の関連機関に文書による依頼収集も併せて行った。

3. 実施した調査研究の内容及び成果

1) 現地調査時期の選定 ①栽培植物があり, 地方(在来)品種の識別ができること, ②水稻等の目隠し作物がなく野菜の栽培が遠くから見渡せ得ること, ③栽培者がほ場作業をしていて聞き取りが可能であること, 等を主条件に10月下旬に決定した。そのため, 種子の入手は農家の播き残し種子を貰うこととし, 不可能な場合は栽培株を貰って試験場で採種するか, 次年度に農家の採種種子を貰い受けるかにした。

2) 調査ルートの選定 現地調査に先立って, 調査地域選定のための文献調査を行った。文献記載の多い地域を中心に以下のルートに決定した。参考にした文献は, ①「野菜の地方品種」野菜試験場育種部(1980. 3), ②「ふるさとの野菜」農耕と園芸編集部編(誠文堂新光社, 昭54. 7), ③「野菜」青葉高著(法政大学出版局, 昭54. 7), ④「京都の伝統野菜」京都府農業総合研究所(昭57. 5), ⑤「湖国の野菜産地」吉川善司著(昭59. 3), 等である。選んだルートは, 滋賀県と京都府を主とした地域で, 野菜茶試→安土町(滋賀農試)→守山市→彦根市→余呉町→今津町・マキノ町→舞鶴市→福知山市→亀岡市(京都農総研)→京都市→野菜茶試の経路である(図1)。以下にその概要を報告する。

(1)守山市地域: 古くより「矢島カブ」の特産地である。この地域は小区画の菜園畑が散在し, その中に在来品種の作付けが見られた。冬季の自給用野菜として栽培されている。当地域では「日野菜カブ」, 「万木赤丸かぶ」, 「矢島カブ」の栽培があり, カブの作付け割合はそれぞれ約50%, 10~20%,

約10%のようである。いずれも市販種子を用いており、自家採種の農家はみられなかった。当該地域の遠藤種苗店で「矢島カブ」、「万木赤丸かぶ」の種子を購入することができた。遠藤種苗店では、「矢島カブ」は最近売れゆきが悪いことから品種の消滅を心配していた。「矢島カブ」は草姿がやや立性で、葉は帯紫色で、葉は「日野菜カブ」に類似するが、根は紫首の丸形である。「万木赤丸かぶ」も古くから栽培されている品種で、葉は緑の板葉で、草姿がやや立性、根は丸形の赤カブ（全体）である。

(2)彦根市地域：本地域は「彦根カブ(小泉カブ、入江カブ)」が古来栽培されている地域である。琵琶湖の東岸沿いに走る砂質土壌地帯に小規模で、冬季の自給用菜園が散在していた。聞き込みから、米原町朝妻地区の国道から旧道に入った一地区に自家採種のカブ栽培のあることを知った。そこで以下の在来種を探し出すことが出来た。①「ベニカブラ」：滋賀県坂田郡米原町朝妻の溝口昇氏が自家採種で代々栽培しているカブで、葉は緑の板葉で、葉数やや少なく、中肋赤く、下部は深い欠刻の葉身を有する。やや扁平の丸形で、カブ全体が赤く、肉はうす桃色を呈する。浅漬又は長期漬けにして自家消費する。採種は時々他の家の優良株と混合採種して弱勢化を防いでいる。市販のカブより柔らかく色が鮮やかなのが特徴である。②「入江カブ」：坂田郡米原町朝妻筑摩の北村留男氏が代々自家採種している品種である。筑摩地区の特産で、琵琶湖沿岸沿いの砂地に生産される。彦根カブの「小泉カブ」よりも根形の長い長カブで、尻太で丸味があり、肉はち密でかたい。色は濃紅色、肉色は白である。葉は細長で切れ込み少なく、葉先は丸形、葉柄は濃紅色である。自給用に秋まき年内どりされる。ぬか漬けにすると内部まで濃紅色に染まり、歯切れ良く、市販のカブには得難い独特の風味と甘みがある。葉の味も特によいとされている。根形から根の洗浄に手間がかかるが、今なお細々と生産販売が続けられ、地域の文化財として表彰されている。残り種子を少量貰い受けた。③「赤丸カブ」：入江カブと同じく筑摩地区の特産品で、琵琶湖沿岸の砂地に栽培されている。種子は北村留男氏が代々自家採種で栽培しているものを入手できた。なお、筑摩地区は伝統的に採種技術を有し、互いに採種用母本を交換しあいながら混合採種して弱勢化を防いでいる。しかし、自家採種のできる高齢者は少ない。

(3)余呉町地域：古くより焼畑で「山カブ」が栽培されている。余呉町の役場から17km山奥に入った鷲見地区の谷口長三、川口つるの両氏が代々栽培している種子を入手することができた。焼畑栽培は昔とは若干変わって里近くに栽培されるようになり、品種も昔は長形のものもあったが今は丸形である。8月上旬に草刈りをして盆すぎに焼畑とし、種子をまいたあと畑をうつ。収穫は年内に行う。葉は帯赤色の緑葉で中肋は赤い。毛茸があり、板葉で基部に浅い欠刻がある。やや立性で、根は赤く丸形の中カブである。肉は白色であるが漬ると赤くなる。肥料をやると葉の赤が少なく緑色となるため、金肥を入れないで栽培するのがよい。収穫後1か月ほど天日乾燥（地方語：はざす干し）し、ぬか漬けにする。長漬けは4月頃開け5～7月まで食べる。小さな礫質土壌で栽培されていた。採種用母株は20株程度を、カブの下半分を切り落し灰をまぶして傾斜地に植え付ける。漬物は褐色であるが、食べる1～1.5時間前に酢を滴下すると鮮やかな紅色となる。古く酢っぱくなった場合は水にさらし、油を入れて煮つけて食べると美味しいという。

(4)マキノ町・今津町地域：①「蛭口カブ」：滋賀県高島郡マキノ町蛭口地域で古くより栽培された。マキノ町役場ほか現地での話から、「蛭口カブ」は既に消滅していた。昔栽培した人に話によると、

種まきは稲刈り後の9月下旬に、うね幅60cm、条間（うねに直角）30cmに条播する。多肥ほど生育が良く、早く生育させるのがよい。収穫は11月下～12月上旬に行い、漬け込みは12月下旬に葉とともに塩漬ける。肉も真っ赤で食味が良い。彦根カブが導入され土着したともいわれている。②「角川赤カブ」：滋賀県高島郡今津町角川で古来栽培されているカブで、文献には無いが今津町での聞き取りで知った。ここでは松本成治氏をはじめ数戸の農家が自家採種により代々栽培を行っている。水田の一角に自給用に作付けされる。秋まき年内どり栽培で、中・浅漬け（ぬかなし、塩漬け）及び深（長）漬けにされる。深漬けは色が悪い。草姿やや立性、葉は緑のさじ形で、毛茸はなく、中肋は長く赤い。根は丸い赤カブで先はうすい桃色である。残余の種子がないことから次年度採種後譲り受けることとした。酢醤油、砂糖小々で千枚漬けや一夜漬けにされる。中肥栽培では良質であるが、多肥栽培では苦味がつく。

(5)舞鶴市地域：古くより「舞鶴カブ」、「佐波賀カブ」、「佐波賀ダイコン」が栽培された地域である。

- ①「舞鶴カブ」：文献では舞鶴市喜多の産とあるが、喜多には既に無く、喜多の近くの大君にありそうだと聞いた。大君に行くと、昨年まで栽培された採種ミス（雑交）から消滅したという。昨年まで維持していた老人に会って事情を聞いた。根は赤く、柔らかで美味しく、香りが良い、等の特徴がある。これまで老人によって細々と維持栽培されてきたが、若者は勤めに出てこれを引き継ぐものがなく、採種する老人が3人となり、少量ずつ採種しては分けあっていたが、前年最後の1人が採った種子はこな（小菜）との混交が生じ、恥ずかしくて全て焼き捨てたということであった。この地域では高齢者による市場出荷向けの栽培が多いが、市販品種が栽培され、自家採種のもののみられなかった。
- ②「佐波賀カブ」、「佐波賀ダイコン」：舞鶴市佐波賀地区の特産とされている。現地佐波賀町の石原泰年氏ほかによると、現地では両品種ともに古くより栽培されていたが、両品種とも20年近く前に消滅し、今は全く栽培されていないという。「佐波賀カブ」は青首の心臓形カブで、煮食、汁の実、浅漬け等に使用され、浅漬けは柔らかく美味である。「佐波賀ダイコン」は昔炭俵にくるんで京都方面へ出荷していたが荷傷みが大きく和歌山産ダイコンに負けたようである。この地区は昔から市場出荷向け野菜栽培が盛んであるが、市場側は現在の市販品種でないと購入してくれないことから自然と消滅したという。また、雑菜類の栽培も多く、採種上雑交の危険が高いことも原因しているようであった。
- ③「九条ネギ」：石原氏が代々採種していると聞き種子を貰うことができた。この「九条ネギ」は9月播種で、翌5～6月に4本ずつ定植する。8月に堀取りのき下にイナギ干しし、8月下旬に葉先を切り15～20cm長にしたものを2～3本ずつ定植する。10月より3～4月にかけて順次出荷する。当地区では若者は会社勤めに出ているため高齢者による市場出荷向けの農作業が目立った。
- ④「ハマダイコン」：舞鶴市三浜で海岸砂丘に野生している情報を得て現地に行った。神社境内に多くの自生株があり、エンサイやハマボウフウの野生もみられた。葉は緑、欠刻深く、ほ状性で、根は白く長い。神社近くの道路沿いにも群落がみられた。数株を持ち帰った。

(6)福知山市地域：当地域は伝統野菜の文献記載がないが、京都への道中であるので探索した。家庭菜園的な小規模の野菜栽培が散在してみられたが、作付けのカブ、ハクサイ、ダイコン等は一般の市販品種であり、特徴的なものは見られなかった。山奥にも行ったが同様に、伝統野菜を自家採種しているという情報は得られなかった。ゴボウを自家採種している人に会ったが、市販の種子を2、3年

毎に購入しては採り返して用いているという程度であった。また、どこも農業者は高齢者が目立ち、若者の姿は見られなかった。当地域は昔から養蚕が盛んで伝統野菜は育まれなかったものと思われる。

(7)京都市地域：京都府農業総合研究所（亀岡市）では京都府の伝統野菜の収集保存と普及に早くから着手し、品種保存事業として15種類の伝統野菜を保存している。今回、保存のアブラナ科野菜の試作は場を見学することができた。「桃山ダイコン、茎ダイコン、佐波賀ダイコン、青味ダイコン3系統、辛味ダイコン、ネズミダイコン、舞鶴カブ2系統、大内カブ、酢茎菜、松が崎うきな」の13品種・系統を保存栽培していた。京都農総研は昭和56年に「桃山ダイコン、茎ダイコン、佐波賀ダイコン」とツケナ「春菜」を遺伝資源として国に寄贈している。「青味ダイコン」のように産地保護の立場から種子の流出を防ぐために国の貯蔵庫への納入を控えている場合もあり、一般配布をしない条件での保存を望んでいるので今後の検討事項と思われる。そのため、種子の寄贈依頼は後に行うことにした。京都農総研と京都市乙訓農業改良普及所の関係者の案内で京都市北部・東部の特産野菜産地を見学することができた。①「辛味ダイコン」：北区鷹が峰の嶋本文夫氏の栽培ほ場を見学した。ウドン、ソバの薬味に使われ、ソバ屋と契約栽培している。種子の他への流出を望んでいない。②「酸茎菜」：北区上賀茂の溝川幸雄氏のは場を見学した。採種に雄株と雌株を一定の割合で混植して集団採種し、品質保持と自殖弱勢防止を図っている。現在160戸、40 haの栽培があり、後継者も34名と多く将来性がある。一時期はF₁品種の洗礼を受けたが、F₁品種はカブが柔らかくて残らなかったという。③「茎ダイコン」：左京区松が崎の岩崎富雄氏の畑を見学した。歯切れが良く、ス入りの遅いのが特徴である。栽培面積は少ない。④「堀川ゴボウ」：左京区一乗寺の大谷幸一郎氏の畑を見学した。品種は市販のものであるが伝統ある特殊な栽培方法を行っており、味の評価が高く特殊需要がある。⑤「聖護院ダイコン」：左京区修学院の中島信夫氏の畑を見学した。現在は市販のF₁品種が栽培されて、晩生種以外は、従来の自家採種ものは消滅している。以上の見学で、伝統的な高い採種・栽培技術と特殊需要に支えられて、宅地内の隔離された中で今なお栽培が続けられていることに深い感銘を受けた。

続いて、京都市南部の伏見区で探索した。「九条ネギ」の生産団地から少し離れた中島町掘端で代々自家採種で栽培している高橋勝氏に出会い、ツケナ類「壬生菜、畑菜、若菜、大阪水菜」の4種子を貰い受け、また栽培について聞くことができた。

なお、府県の試験場ならびに種苗会社の保存・維持している地方品種の収集は現在実施中である。今回、直接お世話戴いた滋賀県農試の森茂樹専門員、京都農総研の岸本章三、西野寛両部長、京都市乙訓農改普及所の北澤・佐藤両主査、をはじめとする多くの方々、協力戴いた農家の方々に深く謝意を表する。

4. 摘要

- 1) 1986年10月21～25日の5日間滋賀県・京都府のアブラナ科在来品種の調査・収集を行った。
- 2) 現地調査から、カブ品種7点（内植物体1点）、ダイコン1点（植物体）、ツケナ4点、ネギ1点、計13点を収集した。
- 3) 伝統的な在来野菜の産地の実状がよく把握された。

4) 公立試験研究機関ならびに民間種苗会社への文書依頼に基づく収集では、ハクサイ3点、カブ10点、ツケナ17点、ダイコン14点、タカナ1点、カラシナ1点、メロン3点、ウリ1点、シュンギク3点、エンドウ1点、フダンソウ2点、計57点を収集した。

5. 所感

1) 引き続き国内遺伝資源の収集を継続実施する必要がある、と同時にこれまでの収集保存された品種の詳しい内容を整理し、保存の実体を明らかにする必要がある。

2) 特殊需要があり、稀少価値があって現在実用栽培が行われている在来品種については、その特殊性からみて一般配布を制限することを条件に収集・保存する必要がある。

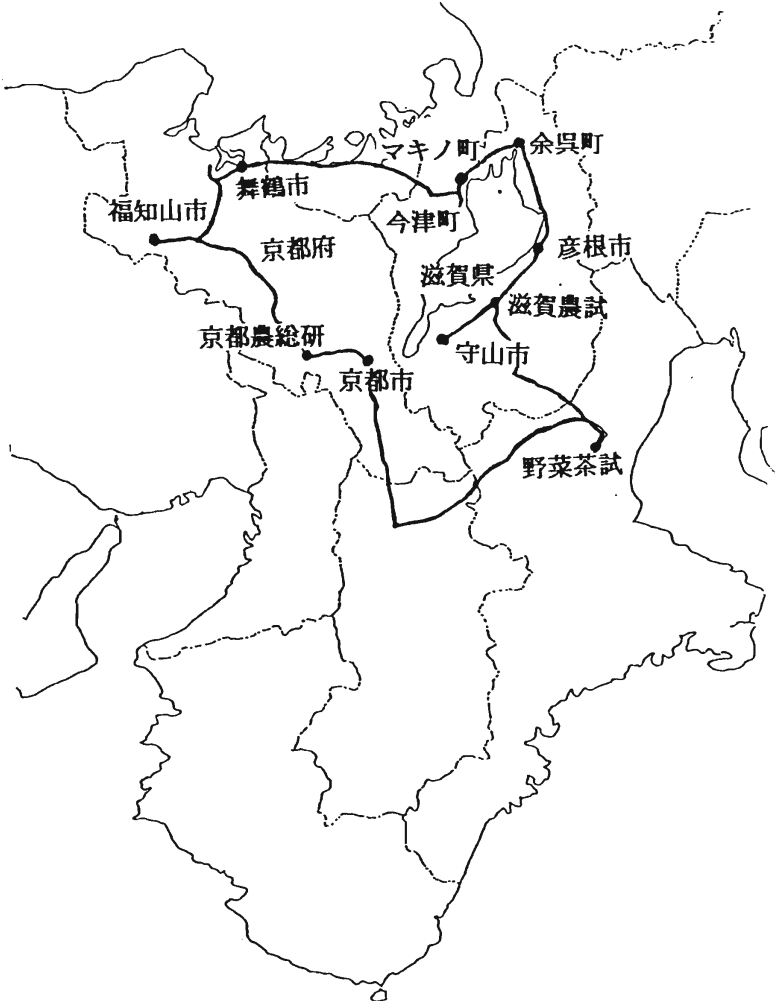


図1. 探索の拠点

表1. 収集材料現地記録表 (近畿地方, 野菜 1986)

収集番号	作物名	属種名	現地名及在来種名	採集月日
1001	カ ブ	<i>Brassica rapa</i>	アカカブ	61.11.
1002	〃	〃	矢島かぶ	
1003	〃	〃	万木赤丸蕪	
1004	〃	〃	入江カブ	
1005	〃	〃	アカマル	
1006	〃	〃	ヤマカブ	
1008	ネ ギ	<i>Allium fistulosum</i>	九条ネギ	
1009	ツ ケ ナ	<i>Brassica japonica</i>	中白水菜(壬生菜)	
1010	〃	<i>Brassica campestris</i>	畑菜	
1011	〃	〃	若菜	
1012	〃	<i>Brassica japonica</i>	大阪水菜	
2001	ダ イ コ ン	<i>Raphanus sativus</i>	山田ねずみ	
2002	〃	〃	伊吹大根	62.3.5
2003	〃	〃	高農聖護院	3.9
2004	〃	〃	赤大根	〃
2005	〃	〃	寒越時無	〃
2006	カ ラ シ ナ	<i>Brassica juncea</i>	赤大葉高菜	
2007	カ ブ	<i>Brassica rapa</i>	大菘蕪	3.5
2008	〃	〃	小泉蕪	〃
2009	〃	〃	信州蕪	〃
2010	〃	〃	矢島かぶ	〃
2011	〃	〃	万木赤丸蕪	〃
2012	〃	〃	日野菜かぶ	〃
2013	〃	〃	酸茎菜	3.9
2014	ツ ケ ナ	<i>Brassica japonica</i>	早生干筋京水菜	〃
2015	〃	〃	早生京壬生菜	〃
2201	メ ロ ン	<i>Cucumis melo</i>	網干メロン	61.11.4
2202	〃	〃	兵庫青縞瓜	〃
2203	〃	〃	イナミベッテン瓜	〃
2204	エ ン ド ウ	<i>Pisum Sativum</i>	兵庫絹莢豌豆	〃

採 集 地	特 記 事 項	備 考
滋賀県坂田郡米原町朝妻		
◇ 守山市中町（えんどう種苗）		
◇		
◇ 坂田郡米原町朝妻筑摩		
◇		
◇ 金呉町鷺見		
京都府舞鶴市佐波賀		
◇ 伏見区中島町堀端		
◇		
◇		
◇		
滋賀県の種屋		
滋賀県太田種苗店		一般配布を希望しない
京都府高山種苗		農水省名称登録101号
◇		
◇		
兵庫県小林種苗		
滋賀県太田種苗		一般配布を希望しない
◇		◇
◇		◇
◇		
◇		
◇		
京都府高山種苗		
◇		
◇		
兵庫県小林種苗		
◇		
◇		
◇		

収集番号	作物名	属種名	現地名及在来種名	採集月日
2205	ウ リ	<i>Cucumis melo</i>	服部白瓜	62.3.17
2206	シュンギク	<i>Chrysanthemum coronarium</i>	大阪中葉新菊(K型)	〃
2207	〃	〃	〃 (M型)	〃
2208	〃	〃	〃 (L型)	〃
2016	ツケナ	<i>Brassica japonica</i>	大阪中生白菜(黒葉)	〃
2017	〃	〃	〃 (黄葉)	〃
2018	〃	〃	大阪晩生白菜	〃
2019	〃	〃	若菜	〃
2020	〃	〃	中生水菜	〃
2209	フダンソウ	<i>Bata vulgaris</i>	河内唐ちやし	〃
2201	〃	〃	ウマイ菜	〃
2021	ダイコン	<i>Raphanus sativus</i>	中生聖護院	〃
2022	〃	〃	三号聖護院(晩生)	〃
2023	〃	〃	すしらず聖護院	〃
2024	〃	〃	耐病早生聖護院	〃
2025	〃	〃	白上り京	〃
2026	〃	〃	山田	〃
2027	〃	〃	平安早太り時無	〃
2028	〃	〃	花不知早太り	〃
2029	〃	〃	寒越し時無	〃
2030	ハクサイ	<i>Brassica Pekinensis</i>	京都1号(早生)	〃
2031	〃	〃	京都二号(中生)	〃
2032	〃	〃	京都三号(晩生)	〃
2033	カブ	<i>Brassica rapa</i>	聖護院	〃
2034	〃	〃	本紅赤丸	〃
2035	〃	〃	日野菜	〃
2036	ツケナ	<i>Brassica japonica</i>	中生しろな	〃
2037	〃	〃	晩生しろな	〃
2038	〃	〃	大晩生しろな	〃
2039	〃	〃	白茎畑菜	〃

採 集 地	特 記 事 項	備 考
大阪府高田種苗		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
京都府タキイ種苗		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		

収集番号	作物名	属種名	現地名及在来種名	採集月日
2040	ツケナ	<i>Brassica japonica</i>	早生水菜	61. 3.17
2041	〃	〃	中生水菜	〃
2042	〃	〃	晩生水菜	〃
2043	〃	〃	早生壬生菜	〃
2044	〃	〃	中生壬生菜	〃
2045	〃	〃	晩生壬生菜	〃
2046	〃	〃	黄葉壬生菜	〃
2047	タカナ		赤大葉	〃
—— 以下は栄養体で収集 ——				
1013	ダイコン	<i>Raphanus sativus</i>	ハマダイコン	61.10.23
1014	カブ	<i>Brassica rapa</i>	角川赤アブ	10.22

採 集 地	特 記 事 項	備 考
京都府タキイ種苗		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
〃		
京都府舞鶴市三浜		栄養体
滋賀県高島郡今津町角川		〃